

## 市長のタウンミーティング 大町地区

(敬称略)



開催日時 令和元年10月21日(月) 19:30～21:40  
 会場 大町公民館  
 参加人数 36名

開会挨拶 大町コミュニティセンター 大野 聡一  
 書記 長谷川 奈央

### 市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	大町	区長制度	区長制度を改革してはどうか。
2	大町	財政健全化	節約も大切ですが、水族館や埋没林博物館の入場料や水道料金など収入を増やすことについて考えてはどうか。
3	大町	企業誘致	ゲーム産業の誘致については、ゲーム廃人にならないように注意してほしい。
4	大町	交通環境	高齢者免許自主返納については、少なくとも足がわりになる、コミュニティバスのフリーパスが必要ではないか。
5	大町	防災	旧大町小の避難所について、体育館は鍵を地区が預かっているが、校舎の鍵も預けてもらい一元管理することはできないか。備品リストなども教えていただきたい。
6	大町	防災	消防団に所属していたOB、また消防隊のOB等で組織を作り、サラリーマン消防団員では対応が難しい平日昼間の災害に備える制度を考える必要があるのではないか。
7	大町	公共交通	大町地区のバスルート変更とフリーパスについて検討してもらいたい。
8	大町	観光振興	まるまる魚津が、小学校の行事がある日と重なっていた。市の行事日程の調整をしてはどうか。
9	大町	防災	防災無線が聞こえない。聞こえるように改善していただきたい。設置場所を増やしてはどうか。
10	大町	子育て環境	滑川市と比べて保育園や児童館が充実しているとは私たちの認識と違った。魚津市も市としてのPRをお願いしたい。

## 令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	大町地区	日時	10月21日(月) 19時30分より 21時40分まで	参加者数	36名
会場名	大町公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	企画政策課 長谷川 奈央
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか	地区からの主な参加者	地域振興会長、各種団体関係者ほか		

### 1. あいさつ

大町コミュニティセンター 大野 聡一

### 2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
  - 人口推移・推計・市の目標について
  - 財政状況について
  - 財政健全化計画について
    - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
    - ・職員数の削減について
  - 産科構想の中止について
  
- ② 「魚津市総合計画の策定」について
  - 特定政策分野における取組について
    - ・子育て支援
    - ・教育環境の充実
    - ・観光振興
    - ・産業振興
    - ・魅力的なまちづくり
  - 人口減少・高齢社会対策について
    - ・移住・定住の促進
    - ・健康づくりの推進
    - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
  - 市民意識調査の結果について
  - 地域づくりの経過と各地区における事業について
  - 次期総合計画の策定について

### 3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

#### ◆「行財政改革の推進」について

##### ○区長報酬について

区長報酬は世帯数によって違うのか。また、区長制度を改革してはどうか。

（村椿市長）

今後、世帯数など町内会ごとの格差が広がっていくので、どこも同じでは無理が出てくるかもしれません。南砺市では小さな拠点など地域が様々な役割を担う取り組みが行われています。南砺市で区長制度があるかはわかりませんが、時代に合ったやり方を考えていく必要があると思っています。

（企画総務部長）

地域振興会に一括してまちづくり交付金として支給しています。内訳は均等割と世帯数による2段階での設定となっており、今後人口割の割合を増やしていくよう、継続的に地域と話し合いを行っており少しずつ改善をしていきたいと思っています。

##### ○収入増について

節約も大切ですが、収入を増やすことについて市はどう考えていますか。

例えば水族館や埋没林博物館の入場料や水道料金などが考えられると思います。

（村椿市長）

収入には2通りあります。まず埋没林や体育館など各種施設の利用者による使用料があります。水準が低いようであれば高くしなくてはいけないので、現在検討しています。値上げには利用者には痛みを伴うので、兼ね合いをみながら適正な料金を見極めたいと思っています。

もう1つ、ふるさと納税をがんばろうと思っています。魚津市は平成26年432万円、平成30年度1900万円、今年度は9月までで1360万円、年間4~5000万円くらいになりそうです。市民の方に痛みが伴うものではありません。ふるさとを離れている方が魚津市を応援でき、寄附をすると特産品などの返礼品が送られてくる制度です。平成29年度でいうと黒部市1800万円、魚津市と同じくらいで、朝日町が平成30年度3600万円、倍ほど、氷見市が2億5,800万円です。

氷見にできるなら魚津もできると考えています。魚津はいいものがたくさんあります。ふるさと納税を伸ばして応援してもらいたいと思っています。市内事業者さんの販売にも、魚津の知名度アップつながるのでどんどんやっていきたいと思っています。

## ◆「魚津市総合計画の策定」について

### ○ゲーム産業の誘致について

ゲーム産業の誘致について、いろんな課題があると思います。5G、eスポーツなどの言葉をニュース等で耳にしますがネットゲーム廃人ということも聞きます。ゲームに集中するあまり廃人になってしまう人のことをいいます。学生の本業は学業です。ゲームが先に立ちすぎないようにお願いしたいと思います。

(村椿市長)

ゲームのやりすぎはよくないとWHOも言っており、ゲーム機能障害が指摘されています。やりすぎはよくないです。

ゲームをすることを勧めているわけではなくて、ゲーム開発の人材、会社の確保に取り組んでおり、ゲームの遊び方は別問題と思っています。適切に遊ぶことは別の問題として取り組む必要があると思っています。世界市場があり、産業としての伸びしろがあるので市の活力のために取り組んでいます。

### ○高齢者免許自主返納について

免許返納した人はどれくらいいるのでしょうか。返納時の恩恵が変化したと聞いたが、どう変わったのでしょうか。他市では増えたとも聞きます。少なくとも足がわりになる、コミュニティバスのフリーパスが必要ではないかと思います。

(民生部長)

高齢者免許自主返納については、平成30年度は2万円分のタクシー券を支給しており、200人台の方から返納がありました。令和元年度は1万円のタクシー券を支給しており金額が減りましたが、前年比で大幅に下がってはおりません。

アンケートでは、免許返納した方は「特典があるから返納している」より「自分の運転に不安」「高齢者の事故の報道を見て自主的に返納に至った」という方が多いです。

また、認知機能検査などでご自身や家族が心配して返納にいたるケースが多いようです。返納後の暮らしを支える足は、コミュニティバスやタクシーがあります。時間をとるか利便性をとるかで選択が変わってくるものと思います。

### ○コミュニティバスについて

コミュニティバスの利用状況が気になります。2,3人しか乗っていないのに大型では無駄ではないかと思います。労災病院やサンプラザへ行くバス以外は小型化する柔軟な対応をしてはどうでしょうか。

(民生部長)

コミュニティバスの利用率については、平成26年以降下がっていましたが、子ども料金を100円にすることで、通学利用で持ち直しました。

市内巡回ルートは、利用率が低下、郊外ルートは通学等で利用率は上がっています。

バス車両は、まだ比較的新しいものなので、更新時期がきましたら小型化、デマンド化など検討していきたいと思います。

### ○避難所の開設について

台風 19 号の際、避難所が開設されました。体育館は鍵を地区が預かっているが、校舎の鍵も預けてもらい一元管理することはできないでしょうか。校舎の鍵は教育委員会が管理しており入れませんでした。また、備品リストなどがわかれば教えていただきたい。

(企画総務部長)

避難所については、地区の公民館や体育館としました。大町地区は各自主防災組織で先進的に取り組んでおられ、町内ごとに教室を利用する等の計画を立てているかと思えます。台風 19 号の際は避難基準にはいきませんでした。不安な方のために自主避難所を 13 地区で開設しました。経田 2 名、本江 1 名の方が実際に利用してこられました。大町については職員が鍵をあげ備品等を地区の方にもご協力いただいて準備しました。

旧大町小学校校舎については電気水道を止めていますが、大規模災害などいざという時には地区と相談したうえでの利用も想定しています。鍵の保管については、今後検討いたします。

### ○平日昼間の災害に備える組織について

20 年以上活動し退団した元消防団に所属していた OB、また消防隊の OB 等で組織を作り、サラリーマン消防団員で対応が難しい平日昼間の災害に備える制度を考える必要があるのではないのでしょうか。

(村椿市長)

消防団員についてのご意見は面白いですね。年齢関係なく社会で活躍する仕組みが大切だと思っているので、市としても考えていきたいと思えます。

### ○バスのルート変更とフリーパスについて

バスのルート変更とフリーパスについて検討してもらいたいと思えます。下田→荒町へ山側の道に上がっていますが、海側の道を走るように来年度から検討してもらえないでしょうか。交通指導員をしているのですが、一般の方から昔バスが通ったが、今通らなくなったのはなぜかと聞かれる。

(民生部長)

ルートの選定については、安心安全面が優先ですので、道路状況などを勘案してルートを決めております。フリーパスのご提案につきましては、バスの運行を持続可能なものにするには一定程度利用者から料金をいただく必要があると考えております。どれくらいの価格であればフリーパスが取り入れられるかなど、今後検討してまいります。

### ○行事の日程調整について

まるまる魚津が、清流小学校、よつば小学校の行事がある日と重なっていました。行事日程の調整をしてはどうかと思えますがいかがでしょうか。

(産業建設部長)

各小学校のバザーなどの行事がばらばらの日程で開催されるものですから、絶対に重ならない。というのは難しい状況にあります。他の課とも連携し、なるべく重ならないよう取り組んでまいりたいと思えます。

## ○防災無線について

防災無線が聞こえません。何か言っているな。という程度に住民も感じてしまい行動をとらなくなってしまうことが心配です。アナウンスが聞こえるように改善していただきたいと思います。設置場所を増やしてはどうでしょうか。

(企画総務部長)

台風 19 号の被害があった地域の話を書きましても、大雨が降っていると、どの地区でも聞こえないとのことでした。ケーブルテレビ、メールなどいろいろな媒体で情報発信をしておりますので、聞こえたらそれらを確認できるようにして、いろいろな媒体をつかって身の安全を守っていただきたいと思います。

設置場所については、津波が心配ですので、海岸沿いに多く設置しています。ただ、たくさんあると逆に聞こえにくくなる場合もあります。無線については、聞こえやすくなるように引き続き工夫してまいりたいと思っております。

## ○市のアピールについて

滑川市と比べて保育園や児童館が充実しているとは私たちの認識と違いました。大町校区の人は滑川に流れているように思います。中滑川駅にある滑川市は看板で PR しています。魚津市も市としての PR をお願いしたいと思います。

(村椿市長)

市のいいところ、アピールすべきところはしっかりアピールしていきたいと思います。魚津は土地の値段が滑川市より高いです。都市的な機能、設備、魚津は素晴らしいのでアピールしていきたいと思います。